

お手入れ つづき

脚のお手入れ

ドリフトレーをはずし、固く絞った柔らかい布でふく

汚れがひどいときは…

- ①水で流し洗います
- ②内部に入った水は脚を上下に数回振り、よく水を切る
- ③水気をふいて、図のように置いてよく乾燥させる



●ドリフトレーのお手入れ方法については、P.15「お手入れ」ドリフトレーを参照ください。

●保管するときは、ポリ袋などに入れた状態で箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

仕様

品番	実容量	質量	保温効力	保冷効力
SY-BA60	6.0 L	約 6.0 kg	80℃以上 (10時間) 85℃以上 (6時間) 88℃以上 (4時間) 90℃以上 (2時間)	8℃以下 (10時間) 7℃以下 (6時間)

■保温効力とは、室温20℃±2℃において製品に熱湯をP.2「飲み物の位置」のイラストで示した高さまで満たし、縦置きにした状態で湯温が95℃±1℃のときから2時間、4時間、6時間および10時間放置した場合におけるその湯の温度。

■保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水をP.2「飲み物の位置」のイラストで示した高さまで満たし、縦置きにした状態で水の温度が4℃±1℃のときから6時間および10時間放置した場合におけるその水の温度。

材料の種類：中びん ステンレス鋼 弁セット ポリプロピレン
 胴部 ポリプロピレン パッキン シリコンゴム
 中せんセット ポリプロピレン (主な部品の主な部分に用いた材料)

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター 0120-345135

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ…TEL (06) 6356-2451 (有料)
 - FAXでのお問い合わせ…FAX (06) 6356-6143 (有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ホームページのご案内 象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>



取扱説明書

真空ドリンクディスペンサー SY-BA60 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品がつけられていることをご確認ください。

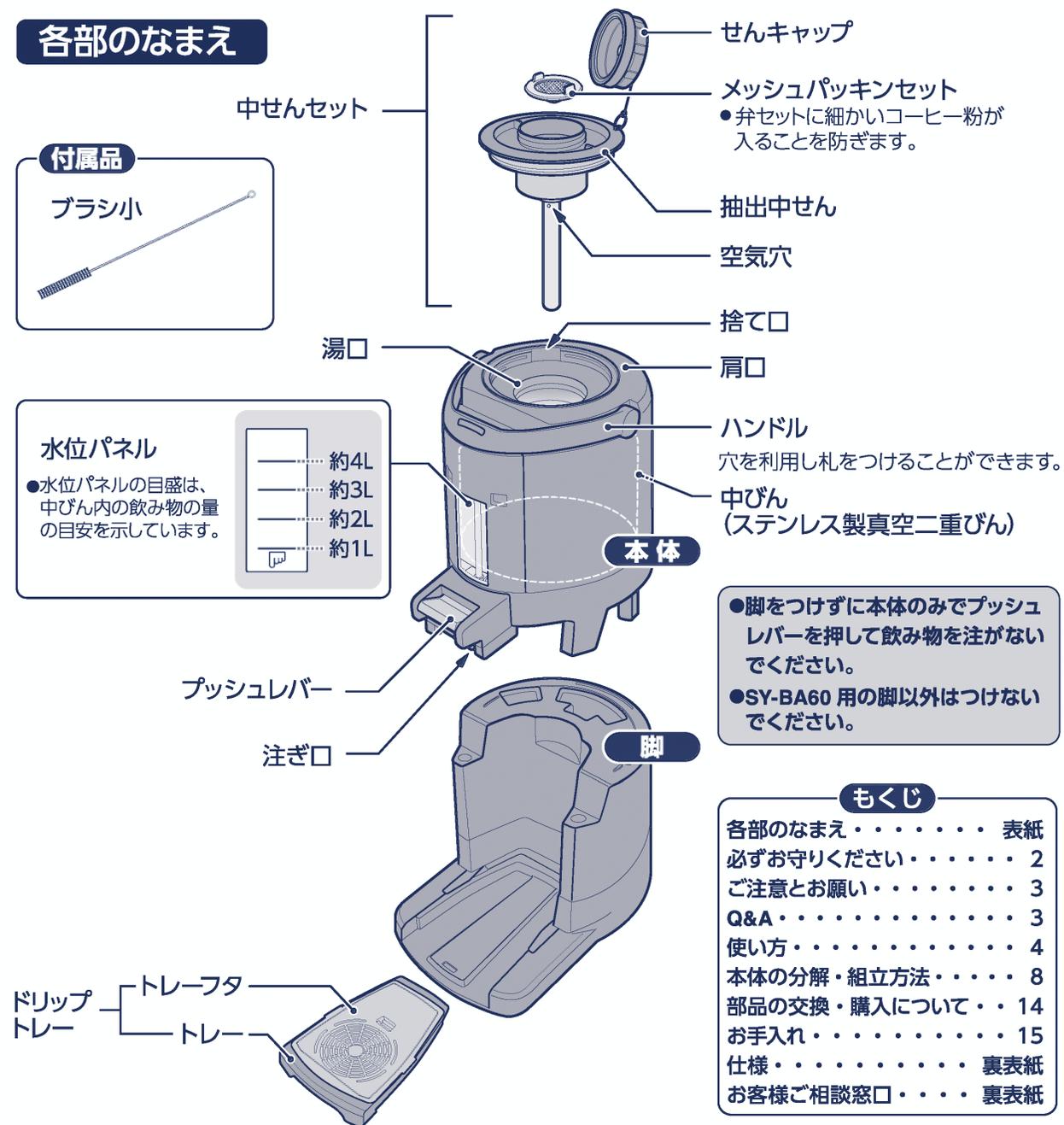
各部のなまえ

付属品

ブラシ小

水位パネル

●水位パネルの目盛りは、中びん内の飲み物の量の目安を示しています。



●脚をつけずに本体のみでプッシュレバーを押して飲み物を注がないでください。
 ●SY-BA60用の脚以外はつけないでください。

もくじ

各部のなまえ	表紙
必ずお守りください	2
ご注意とお願い	3
Q&A	3
使い方	4
本体の分解・組立方法	8
部品の交換・購入について	14
お手入れ	15
仕様	裏表紙
お客様ご相談窓口	裏表紙

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●お使いになるときは、やけど・飲み物の変質・変色・製品の故障・汚れなどを防ぐために次のことを必ずお守りください。

専用の脚以外はつけない

本体が倒れ、やけど・けがの恐れがあります。

脚をつけずに本体のみで飲み物を注がない

本体が倒れ、やけど・けがの恐れがあります。

乳幼児の手の届くところには置かない また、いたずらには十分注意する

やけど・けがなどの恐れがあります。

お手入れ以外での改造・分解修理はしない

故障・事故の原因になります。

落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、中びんがへこみ、保温・保冷力が低下することがあります。

脚をつけた状態で本体を持ち運ぶときは、脚レバーが確実に戻っていることを確認する

けが・破損の恐れがあります。



飲み物はその日のうちに飲みきる

長時間放置すると腐敗や変質の原因になります。また、腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せんセットをはずすときに中せんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

持ち運びの際には次のことを守る

- 必ずハンドルを持って運ぶ
 - 傾けたり横にして抱きかかえたりしない
 - プッシュレバーに触れない
 - せんキャップや抽出中せんを持って運ばない
- やけど・汚れの原因になります。

飲み物を入れたときは、横転させない また、横置きにしない

やけど・汚れの原因になります。

飲み物を入れたまま車などに載せての移動はしない

やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。

傾いたり不安定な場所では絶対に使用しない

本体が倒れ、やけど・けがの恐れがあります。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎると、中せんセットをつけたときに飲み物があふれたり、水位管カバー（上）から飲み物が漏れる原因になります。



飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温・保冷を目的とした製品です。

保温性能が低下した製品は使用しない

熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

ストーブやコンロなど火気の近くや直射日光のあたる場所で使用しない

変形・変色の原因になります。

直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に乗せない

火災・故障の原因になります。

弁セットのキャップパッキンは必ず弁キャップにつけた状態で使用する

飲み物が漏れてやけど・汚れの原因になります。

中せんセットは確実につける

転倒したときに飲み物が多く漏れる原因になります。

次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せんセットがはずせなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
- 牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
- みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
さびたり、保温・保冷力が低下する原因になります。
- 果肉・お茶の葉など
詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

中びんに入れる飲み物にはミルク・砂糖は入れない

腐敗・変質・目詰まりして飲み物が漏れる原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない
製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あき（中びん）・故障の原因になります。
- 煮沸はしない
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形・故障の原因になります。
- 本体の丸洗いはしない
水の浸入・さび・故障・他のものを汚す原因になります。

使用後はすぐに中びんをしっかりと洗う

さび・穴あき（中びん）・故障・腐敗の原因になります。

ご注意とお願い

熱いお茶を長時間保温するとお茶の色が変わるため、中びんには湯を入れ、急須やティーバッグなどのご利用をおすすめします。

使用後は必ず中せんセット・弁セット・水位管セット・水位管カバー（上）（下）・底連結チューブ・ジョイント・シールゴムをきれいに洗う

放置しておくこと、カビ発生の原因になります。

ディスペンサーをブルーワーカーから取り出すときや他の場所に移動するときは、身体や衣服が注ぎ口やプッシュレバーに触れないように注意する
飲み物が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。

熱い飲み物を入れるときは、熱いやかんを肩口・湯口に触れさせない

転倒によるやけど・傷・変形の原因になります。

中びんに氷を入れる場合は先に飲み物を入れてから、静かに入れる。

また、氷は押し込まず、小さくしてから入れる

変形・故障の原因になります。

Q&A

症状	原因	処置
保温（保冷）が効かない	中せんセットが確実に閉まっていますか？	確実に閉めてください。
	十分に熱い（冷たい）飲み物を入れていませんか？	十分に熱い（冷たい）飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱（予冷）をするとより効果的です。
飲み物が出ない	水位管セット・弁セットを確実につけていますか？	
飲み物が漏れる	水位管セット・弁セットを確実につけていますか？	確実につけてください。（P.11～13 参照）
	弁キャップが緩んでいませんか？	
飲み物の出る量が少なくなった	弁セットにコーヒー粉がたまっていますか？	弁セットを洗い、コーヒー粉を取りのぞいてください。
	飲み物が少なくなっていますか？	飲み物の残りの量が少なくなると、出る量が少なくなります。
	本体の湯口が汚れていませんか？	本体の湯口をお手入れしてください。（P.15 「お手入れ」湯口参照）
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	水位管セット・弁セットが汚れていませんか？	お手入れしてください。直らない場合はプッシュレバーと弁セットに破損がないか点検してください。
	保温（保冷）効果を高めるために、中びんに入れている銅箔がこすれて出る音です。異常ではありません。	
抽出中せんから飲み物があふれる	メッシュパッキンセットにコーヒー粉がついていませんか？	メッシュパッキンセットを洗い、コーヒー粉を取りのぞいてください。
	飲み物を入れすぎていませんか？	正しい量にしてください。（P.2 参照）
	本体の湯口が汚れていませんか？	本体の湯口をお手入れしてください。（P.15 「お手入れ」湯口参照）
	抽出中せんの空気穴が詰まっていますか？	抽出中せんの空気穴をお手入れしてください。（P.15 「お手入れ」抽出中せん参照）

いずれの場合にもあてはまらない場合は、品番とともに買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

使い方

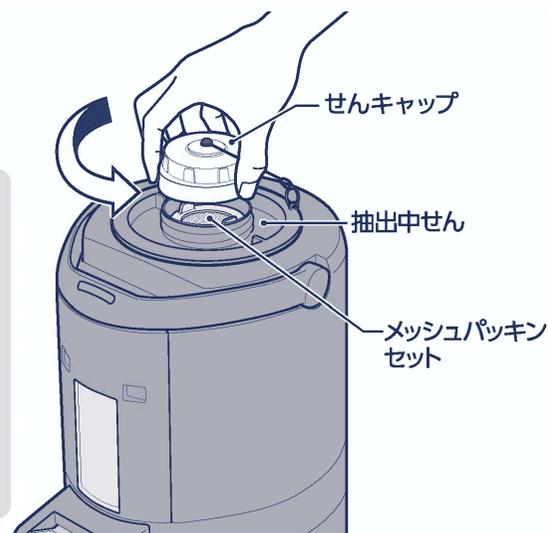
- ご使用前に中びん・湯口・中せんセット (はずす) をぬるま湯で十分に洗ってください。また、中びんに水を入れ、プッシュレバーを押して注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

1 せんキャップまたは中せんセットをはずす

ブルーワーでコーヒーを入れるときは…

せんキャップを矢印の方向に回してはずす

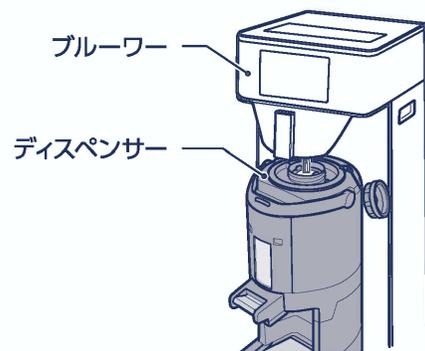
- 中せんセットごとはずさないでください。
- 抽出中せんにメッシュパッキンセットがついていることを確認してください。(細かいコーヒー粉が入ることを防ぎます。)
- メッシュパッキンセットにコーヒー粉がついているときは洗ってください。(ブルーワーでコーヒーを入れているときに、抽出中せんからコーヒーがあふれる原因になります。)



2 飲み物を入れる

ブルーワーでコーヒーを入れるときは…

ディスペンサーをブルーワーの抽出口の下に置き、コーヒーを入れる

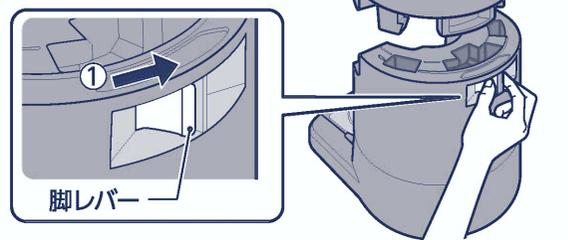


- コーヒーを継ぎ足す場合は、中びんに残っているコーヒーの量を確認してください。残量によってはコーヒーがあふれる恐れがあります。

ブルーワーの下にディスペンサーを置けないときは…

本体を脚からはずしてください。

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②ハンドルを持ち、本体を持ち上げる



ブルーワー以外で飲み物を入れるときは…

中せんセットを矢印の方向に回してはずす



あらかじめ少量の熱湯 (冷水) を入れ、1分程度予熱 (予冷) したあとで熱い (冷たい) 飲み物を入れると保温 (保冷) 効果が上がります。

ブルーワー以外で飲み物を入れるときは…

直接、中びんに飲み物が落ちるようにゆっくり入れる

- 勢いよく入れると、水位管カバー (上) から飲み物が漏れることがあります。



3 せんキャップをつける

ブルーワーでコーヒーを入れるときは…

ディスペンサーをブルーワーから出し、せんキャップを矢印の方向に最後まで回してつける



本体を脚からはずしているときは、脚をつけてください。(P.7参照)

ブルーワー以外で飲み物を入れるときは…

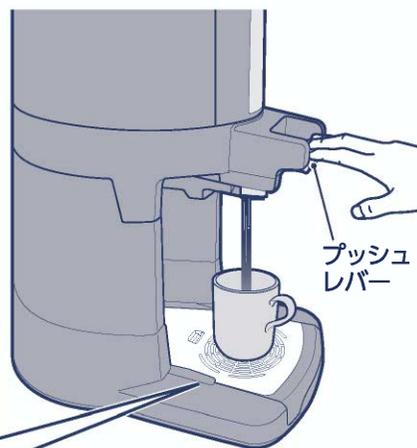
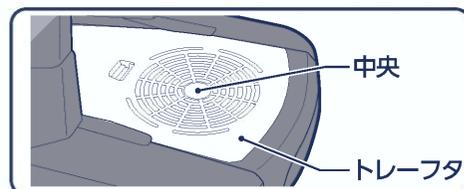
中せんセットを矢印の方向に最後まで回してつける



4 プッシュレバーを押して飲み物を注ぐ

トレーフタの中央にカップを置き、プッシュレバーを押す

- 注いでいる間は水位管の圧力が下がり、水位が動きますが異常ではありません。
- ハンドポットに飲み物を注ぐときは、ハンドポットのせんをはずして、注いでください。(せんから飲み物があふれる原因になります。)

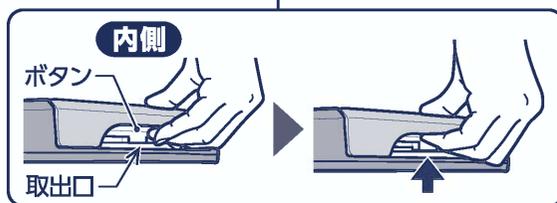
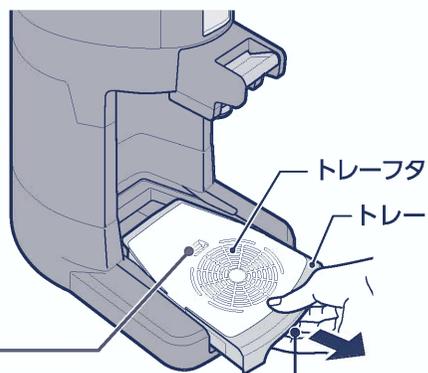


5 使用後、ドリフトレーにこぼれた飲み物を捨てる

①トレイの取出口内側のボタンを押し上げながら、矢印の方向に引き出す

②トレーフタをはずして、トレイにこぼれた飲み物を捨てる

使用中でも、トレーフタの穴からトレイにたまった飲み物が見えたときは捨ててください。



飲み物の捨て方

使用後、飲み物が残っているときは必ず捨ててください。

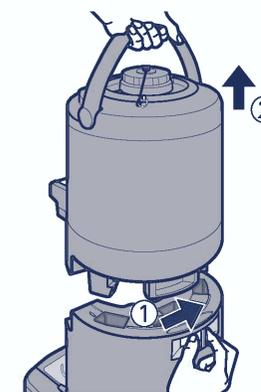
1 飲み物を排出する

飲み物が残っているときは、プッシュレバーを押して、別の容器に飲み物を排出する



2 本体を脚からはずす

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②ハンドルを持ち、本体を持ち上げる



3 中せんセットをはずし、本体を傾けて中びんに残った飲み物を捨てる

- 捨てる時はハンドルと持ち手を持ってください。
- 残った飲み物や蒸気でやけどをしないように十分ご注意ください。
- 捨て口以外の位置から飲み物を捨てると、水位パネルと本体の間に飲み物が入り、汚れや破損の原因になります。



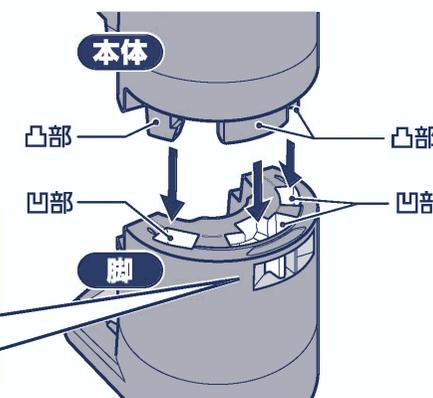
4 中せんセットをつけ、本体を脚につける

本体底部の凸部(3カ所)と、脚の凹部(3カ所)を合わせて上から差し込む

- 飲み物を捨てたあとは、本体を脚につけてください。

脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込んでください。

脚レバー ← 戻る



本体の分解・組立方法

●はずした部品は必ず確実につけてから使用してください。

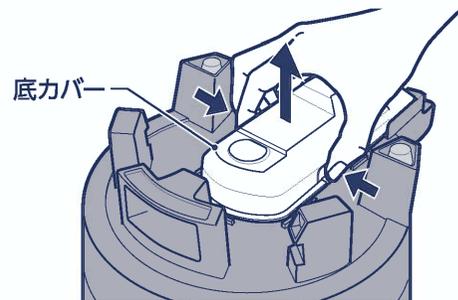
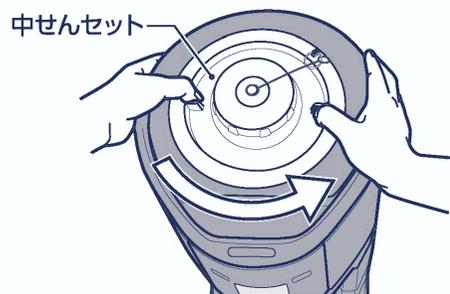
分解方法

1 本体を脚からははずす (P.4参照)

- ①脚背面の脚レバーをつまむ
- ②ハンドルを持ち、本体を持ち上げる

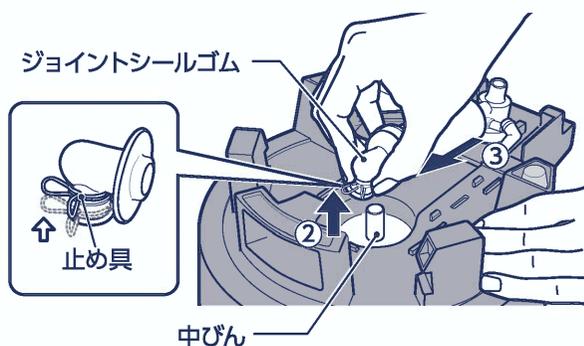
2 中せんセット・底カバーをははずす

- ①中せんセットを矢印の方向に回してはずす
- ②本体を逆さまにして底カバーの両側を矢印の方向へ押しながら上に持ち上げる

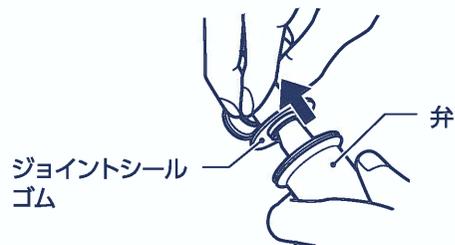


3 弁セットをははずす

- ①弁セットを片手で押さえながら、底連結チューブをははずす
- ②止め具をつまみながら矢印(令)の方向にずらし、ジョイントシールゴムを中びんからははずす
- ③弁セットを矢印の方向に出す



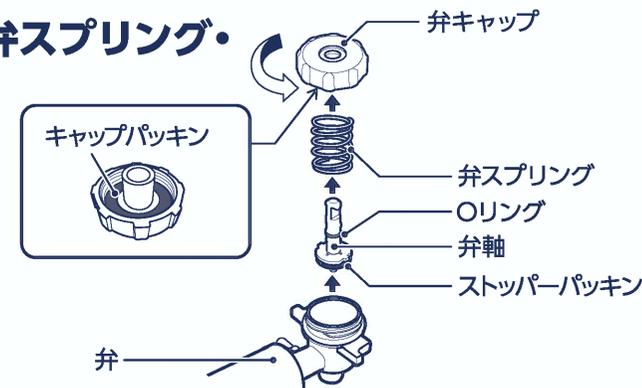
- ④弁からジョイントシールゴムをははずす



●ご使用前に中びんに水を入れ、プッシュレバーを押して正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

4 弁セットを弁キャップ・弁スプリング・弁軸・弁に分解する

弁キャップを矢印の方向に回してはずし、弁スプリング・弁軸を出す



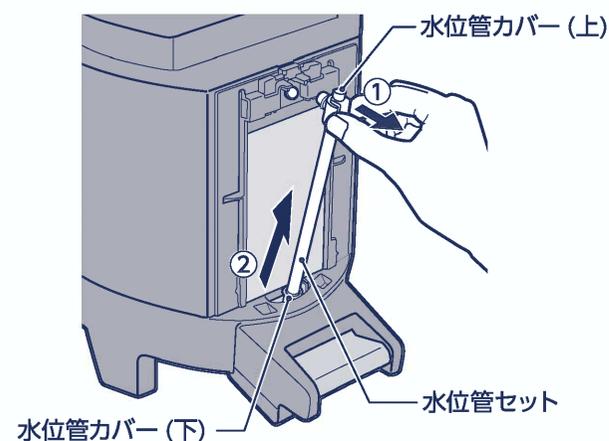
5 水位パネルをははずす

- ①本体の向きを元に戻し、ハンドルを立てる
- ②水位パネルの凹部に指をかけ、上部のボタンを押しながら手前にははずす



6 水位管セット・水位管カバー(上)をははずす

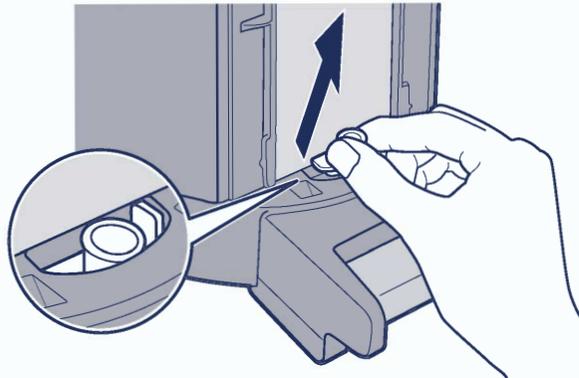
- ①水位管カバー(上)を手前に引いてはずす
- ②水位管セットを持ち上げて水位管カバー(下)からはずす
- ③水位管セットから水位管カバー(上)をははずす



分解方法 つづき

7 水位管カバー(下)をはずす

- ①水位管カバー(下)・底連結チューブを矢印の方向に引き抜く

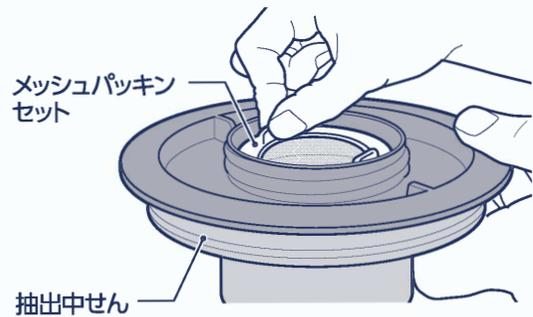


- ②底連結チューブから水位管カバー(下)をはずす



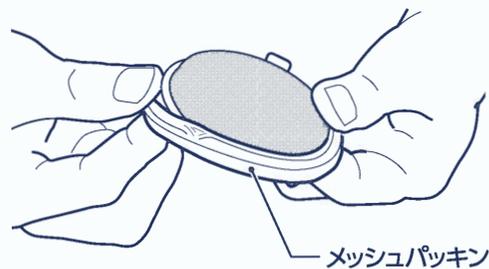
8 メッシュパッキンをはずす

- ①メッシュパッキンセットを抽出中せんからはずす



●抽出中せんは分解できません。無理に分解しようとすると破損する原因になります。

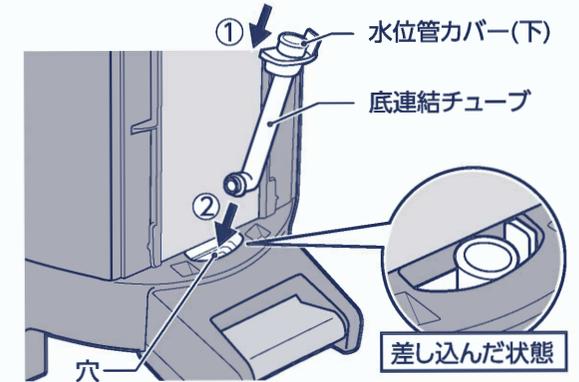
- ②メッシュパッキンをはずす



組立方法

1 水位管カバー(下)をつける

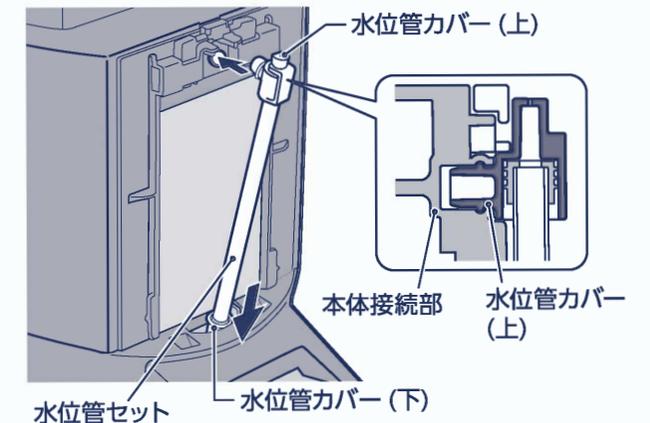
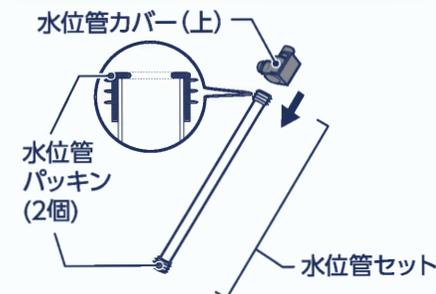
- ①底連結チューブに水位管カバー(下)をつける
- ②底連結チューブを本体正面下部の穴に差し込む



2 水位管セット・水位管カバー(上)を本体につける

- ①水位管セットに水位管カバー(上)をつける
- ②水位管セットを水位管カバー(下)に差し込んでから、水位管カバー(上)を本体接続部に差し込む

水位管カバー(上)をつける前に水位管パッキンが下図のようについていないことを確認してください。



●水位管セットに強い力を加えないでください。破損・けがの原因になります。

3 水位パネルをつける

- ①ハンドルを立てて、水位パネル下部の凸部(2カ所)を本体の凹部(2カ所)に差し込む



- ②「カチッ」と音がするまで水位パネル上部を押しつけて本体につける

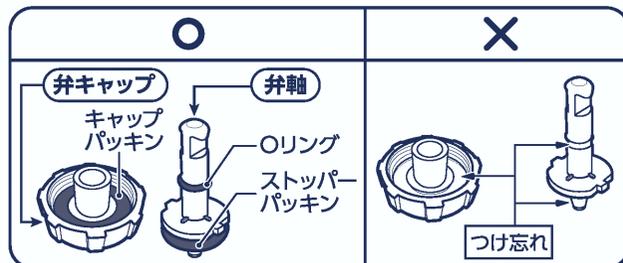


本体の分解・組立方法 つづき

組立方法 つづき

4 弁セットを組み立てる

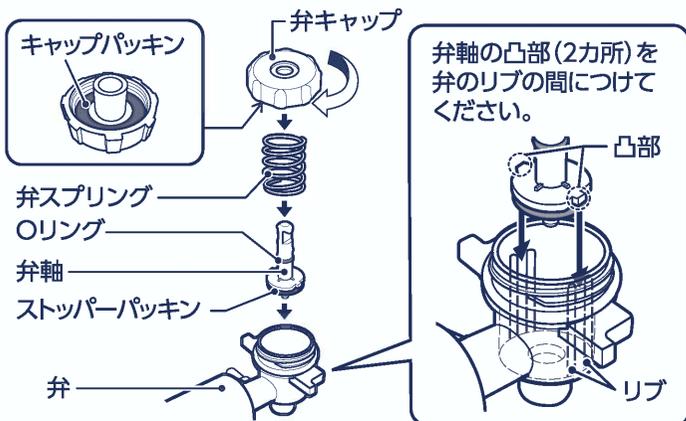
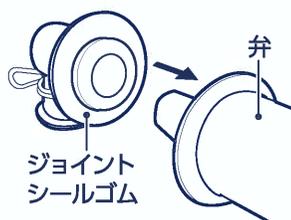
①弁キャップを閉める前に、弁軸にストッパーパッキンとOリングが、弁キャップにはキャップパッキンがついていることを確認する



②弁に弁軸・弁スプリングをつけて、弁キャップを矢印の方向に最後まで回してしっかり閉める

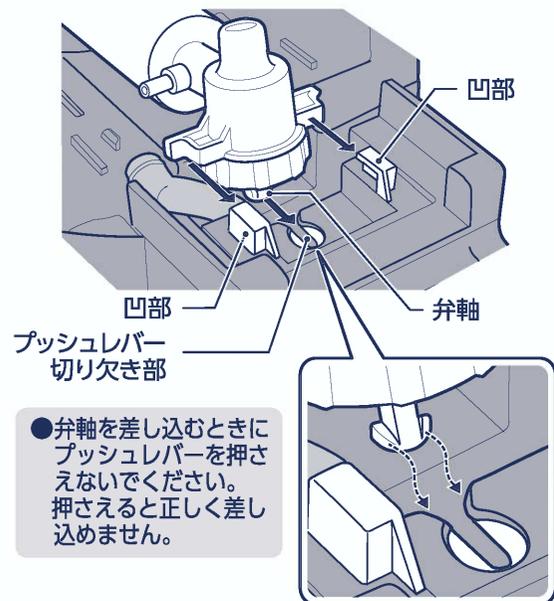
③弁の根元までジョイントシールゴムを差し込む

●すき間やねじれがないことを確認してください。



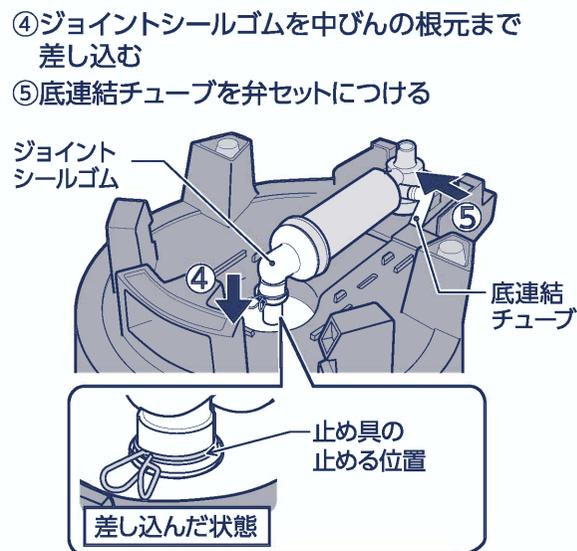
5 弁セットを本体につける

- ①本体を逆さまにする
- ②弁軸をプッシュレバー切り欠き部の下側に差し込む



●弁軸を差し込むときにプッシュレバーを押さえないでください。押さえると正しく差し込みません。

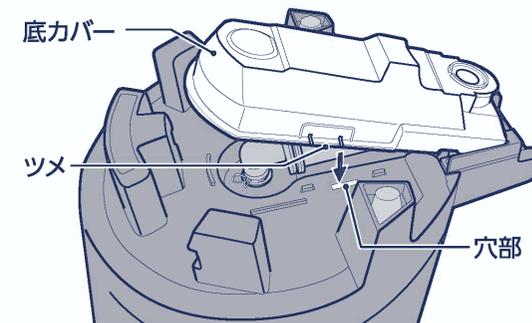
- ③止め具をジョイントシールゴムの下側に下げる
- ④ジョイントシールゴムを中びんの根元まで差し込む
- ⑤底連結チューブを弁セットにつける



6 底カバーをつける

①底カバーの凸部(2カ所)を本体正面の凹部(2カ所)に差し込む

②底カバーのツメ(2カ所)を本体穴部(2カ所)に合わせ、つける



●すき間やねじれがないことを確認してください。

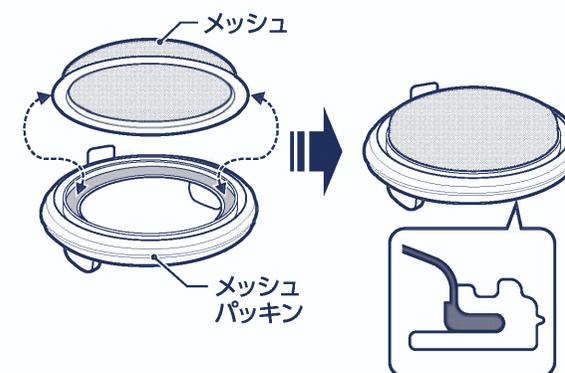


7 本体を脚につける (P.7参照)

●脚背面の脚レバーが「カチッ」と音がして、確実に戻るまで差し込む

8 中せんセットをつける

①メッシュにメッシュパッキンをつける



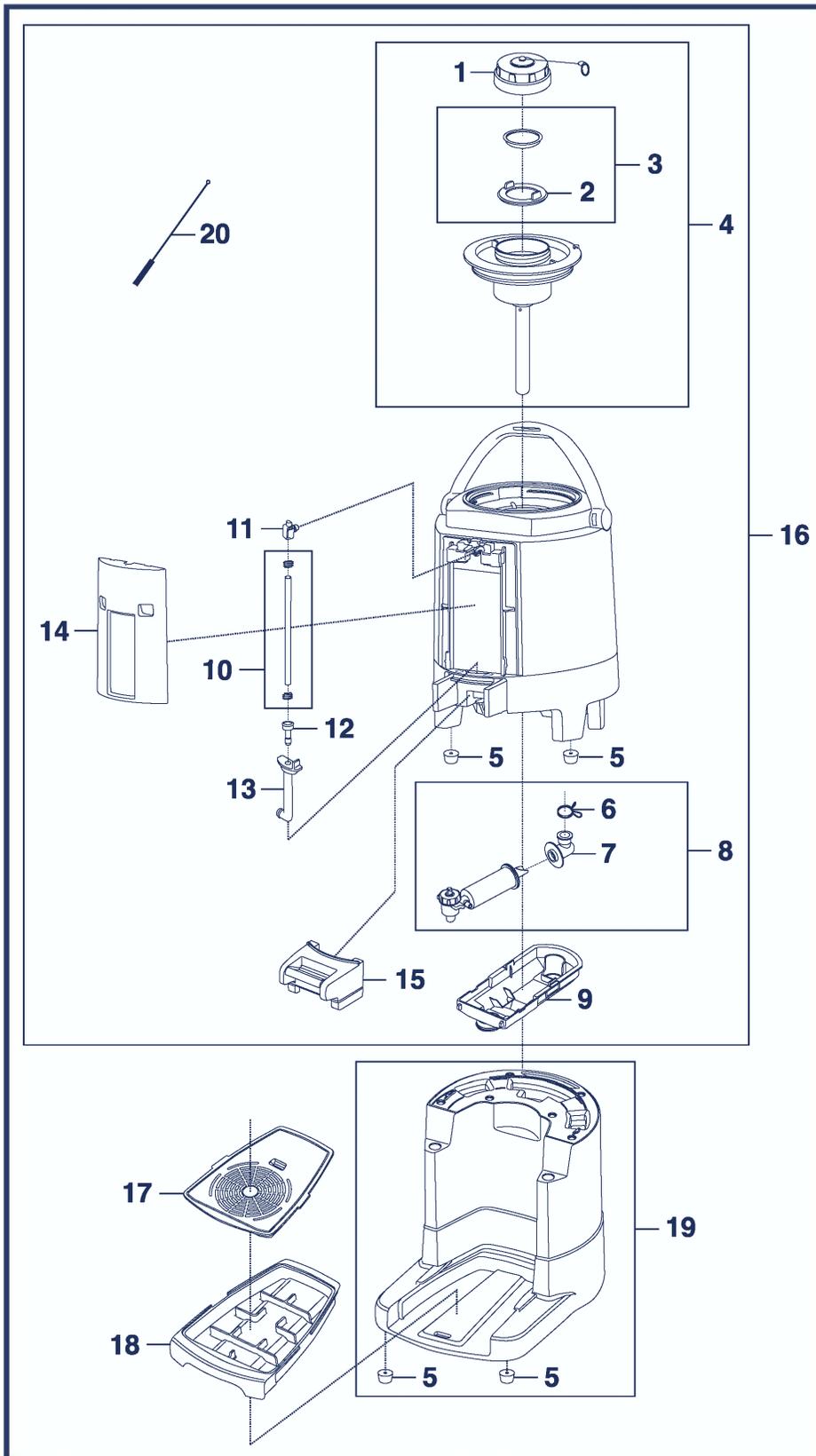
- ②メッシュパッキンセットを抽出中せんにつけ、せんキャップをつける
- ③中せんセットを矢印の方向に最後まで回し、つける



中びんに水を入れ、プッシュレバーを押して、正しく注げるか、漏れてくることがないかを確認してください。

底カバーは必ずつけてください。ぶつけるなど、弁セットに強い衝撃を与えると、部品が破損して漏れ・やけどの原因になります。

部品の交換・購入について



番号	部品名 部品番号
1	せんキャップセット BS172K01L-00
2	メッシュパッキン BS172021M-00
3	メッシュパッキンセット VY60-J
4	中せんセット BS172801L-00
5	アシゴム BS172036M-00
6	止め具 BS172060G-00
7	ジョイントシールゴム BS172059M-00
8	弁セット BS172817L-00
9	底カバーセット BS172K03L-00
10	水位管セット BS172K04U-00
11	水位管カバー(上) BS172055L-00
12	水位管カバー(下) BS172056L-00
13	底連結チューブ BS172058M-00
14	水位パネルセット BS172808L-00
15	レバーセット BS172K02L-00
16	本体セット SY-BA60N-BB
17	トレーフタ BS172067L-00
18	トレイセット BS172K05L-00
19	脚セット(アシゴムつき) BS172810L-00
20	ブラシ小 BR077037G-00 (7-VYD-P250)
別売品	ステンレスボトル用洗剤 ピカボトル(10g×4包入り) SB-ZA01

- 中せんセット・弁セット・底連結チューブ・水位管セット・水位管カバー(上)(下)は消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂がザラザラしてきたり、変色や損傷してきた場合は、いずれも交換・修理(有料)してください。
- 補修用性能部品*の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
*性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店で求めください。(ホームページでのご購入は裏表紙の「ホームページのご案内」参照)

お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にお使いいただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.8~10参照)

ハンドル 本体(外側・湯口・肩口など)	水位パネル	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて汚れをふき取る ②ぬるま湯を柔らかい布に含ませてかたく絞り、ふく
中びん		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシに含ませて軽く洗う ②ぬるま湯を入れ、2~3回すすぎ洗いをする
せんキャップ メッシュパッキンセット 抽出中せん 底カバー	ドリフトレー (トレーフタ・トレイ)	①台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯に浸し、スポンジで洗う ②水で十分にすすぐ
水位管カバー(上)(下) 水位管セット 弁キャップ 弁スプリング 弁軸 弁 底連結チューブ ジョイントシールゴム 止め具		①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジやブラシ小(付属品)に含ませて洗う ②水で十分にすすぐ ●洗浄中は水位管セットがずべりやすいため、落とさないように注意してください。 また、ブラシ小を水位管セットの中に無理に押し込まないでください。 破損や傷・変形の原因になります。 ●底連結チューブ・ジョイントシールゴムにブラシ小を無理に押し込まないでください。材質がシリコンゴムのため、破損の原因になります。 洗うときは、台所用中性洗剤をつけて洗ってください。洗剤をつけずにブラシ小を押し込むとブラシが抜けにくくなり、破損の原因になります。

- 本体は絶対に丸洗いしないでください。水が浸入、さびが発生したり他のものを汚したりします。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- お手入れのときにははずした部品は必ず確実につけてから使用してください。やけど・破損・飲み物が漏れる原因になります。
- スポンジ・布は柔らかいものを使用してください。●煮沸はしないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。●食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより中びん内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんセットをつけずに約30分~1時間置いたあと中びんの内壁をきれいに洗ってからお使いください。(上記「お手入れ」中びん参照)

茶しぶなどのお手入れ

- 中びんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 [ピカボトル]」をお使いください。(別売品) →P.14「部品の交換・購入について」参照
- ピカボトルをお使いになる場合は、中せんセットを本体からはずしてください。